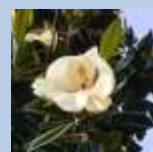


佐倉市立上志津中学校

泰山木



H26.1.7

発行責任者
山口 俊久

在籍数	
1年生	108名
2年生	115名
3年生	115名
計	338名



一年を締めくくる学期として！

校長 山口 俊久

二〇一四年が開けました。あけましておめでとうございます。三学期もよろしくお願いいたします。

今年は、二月には冬季オリンピックソチ大会、六月にはワールドカップサッカーブラジル大会と大きなスポーツイベントが開催されます。日本人選手の活躍と同時に、どんなスーパースターが現れ、華麗なパフォーマンスを見せてくれるのか今から楽しみです。

私は個人的には、フィギュアスケートの羽生結弦選手に期待しています。その理由は単純なことで、以前優勝インタビューで「この優勝で多くのお祝いのメールがきますね？」と聞かれた彼は、「私は携帯電話と持っているません。だからメールとかはないです。」何故これだけの選手が携帯電話を持っていないかという、『競技に集中するためです！』と答えたといいます。目先のことにとらわれず、大願を成就するには何かを犠牲にするくらいの覚悟が必要だということですね。

さて、三年生は、始業式当日から私立高校入学願書の提出が始まりました。いよいよ試験本番です。中旬からは入学試験が開始されます。

塾の冬期講習でみっちりしごかれた人、ひたすら自分を信じ自宅で勉強に燃えた人と、受験生としてやるべき事はやっただけと言え冬季休業であったかと思えます。結果が出ますように、願っています。



「トップランナーの言葉」から 水泳 北島 康介選手
『不安を抱いてレースに臨みたくない』
試合って緊張するものなんだと思います。僕は今でも緊張します。ただ、緊張しないと、120%のレースは出来ないんですよ。

緊張を通り越してびびってしまつて満足なレースができないというのは、その前の過程に不安を抱いてしまっているからだと思ふんですよ。僕は不安を抱いてレースに臨みたくないの、普段から妥協しないトレーニングを心がけるようにしています。

だから試合会場に行ったときには胸を張って試合を楽しめるといふか、練習でキツイ思いをしたぶん、試合では楽しみたい、良い結果を残したいというのが僕の考えです。もし試合会場で緊張してできないことがあれば、その前の段階に問題があると僕は思っています。

試合・レースという言葉、試験に、練習を勉強に置き換えて文章を読んでみて下さい。試験に対する不安は誰しもあるものです。その不安を取り除くには、やはり、**勉強しかない**のです。頑張れ、受験生！ 一・二年生も心しておいた方がいいですよ。



このように三年生が高校入試合格に向けて頑張っている中、一年生は総合的な学習の時間を使って進路指導の一環として『職業人に学ぶ』を実施します。様々な職業の方、八名からお話をうかがうことになっています。これまでに、授業や本・インターネット等を使い様々な職業について調べ学習をしてきました。一月二十三日（木）午後、一時間を使って実施いたします。

☆☆3学期の行事予定☆☆

【1月】

- 7日（火）始業式
- 23日（木）1年職業人に学ぶ

【2月】

- 4日（火）新入生保護者説明会
- 12日（水）公立入試（前期）1日目
- 13日（木）公立入試（前期）2日目
- 27日（木）第4回定期試験1日目
- 28日（金）第4回定期試験2日目
公立入試（後期）

【3月】

- 5日（水）予餞会
- 13日（木）卒業式
- 19日（水）学年末保護者会
- 24日（月）修了式
- 31日（月）離任式



そして二年生。三月五日（水）に予定している『予餞会』の実行委員会を立ち上げ、準備が始まっています。学校行事に限らず、生徒会委員会活動も中心となり、二年生が活動しています。二年生の出番が徐々に増えてきています。一年生も進路学習と平行で『予餞会』の練習も進めます。保護者や地域の皆様方には、本校の教育活動並びに子供たちの健全育成にご協力いただきまして誠にありがとうございます。これまで同様に皆様方のご協力・ご支援をお願いいたします。

小寒が過ぎ、これから寒さが一段と厳しくなります。感染力性胃腸炎（ノロウイルス）やインフルエンザの流行が心配されます。各ご家庭におきまして、『うがい・手洗いの励行』を心がけていただき、感染防止にお努めください。ハンカチを携帯していない生徒が見受けられます。手洗いは、清潔なハンカチで拭く習慣をつけましょう！自分の健康と周囲の健康にも気配りを。一月はあつと言う間に過ぎ去りました。二月は逃げると言います。充実した月になるように、みんなで頑張りましょう！

佐倉市学習状況調査について 教務主任 石山 昭

三学期は年度末になるということがあり、一年間の学習の状況を評価するための行事があります。その一つが「佐倉市学習状況調査」であり、もう一つが「千葉県標準学力検査（国語・社会・数学・理科・英語）」です。ここでは「佐倉市学習状況調査」について述べます。

この調査は、佐倉市が独自に作成した問題で、年に一度、実施しているものです。市内全中学校で実施し、調査対象となるのは、国語、数学、英語の問題と学習意識に関する調査です。三学期についてはすでに十二月十七日（火）に実施し、その集計処理を現在、行っているところです。一・二学年については一月九日（木）に実施します。

この調査の趣旨は、次の通りです。

一 学習指導要領に基づく国語、数学、英語の基礎的な学習内容の一部と知識・技能等を活用して課題を解決する力について、その定着状況を到達度調査することにより、生徒の学習状況の現状と課題を明らかにし、各学校が基礎的・基本的な学習内容の確実な定着とその活用する力の育成を目指し、指導・評価の工夫改善を図る。

二 学習に対する意識や生活習慣等についてアンケート調査することにより、学習状況の現状と課題を明らかにし、各学校の生徒の学習に対する関心・意欲を向上させることを目指し、指導・評価の工夫改善を図る。

市内全体の分析結果の報告は三月中となり、これを受けた本校の報告は四月以降となります。

生徒が、一年間のまとめとして取り組むことも大事ですが、学校としても結果を学習指導等に生かしていきます。



特別支援学級から 特別支援学級担任 有賀浩美

佐倉市・酒々井町の特別支援部会では一年に一度、「小中合同学習発表会」を開催しています。この行事は、佐倉市・酒々井町の小中学校に設置されている特別支援学級で学ぶ児童・生徒が、日頃の学習の成果を披露し合うもので、本年度で二十七回目を迎えます。今年は一月二十二日（水）に佐倉市民音楽ホールとプリミエール酒々井の二会場で行われます。（上志津中学校は佐倉市民音楽ホールが会場です。）

本校は、下志津小学校、南志津小学校の児童と一緒に総勢十一人で、まさしく「合同発表」をする予定です。「思い出のアルバム」と称し、各校の小学生と一緒に寸劇をしたり、歌を歌ったりします。三校合同の発表は、一緒に練習するために、時間や場所の確保が難しかったり、練習するための移動する時間が必要だったり大変なこともあります。しかし、普段少人数で学習することが多い特別支援学級の児童・生徒にとって、交流学习はとても多くのことを得られる貴重な体験になります。現在、本番にむけて一生懸命に練習中です。当日は座席数の関係上、たくさんの方に来場していただけないことが残念ですが、日頃の学習の成果を発揮できるように頑張ってきたと思います。

また、普段は保健室及び体育館の近くの「レインボー教室」で学んでいますので、学校へお越しの際はぜひ様子をご覧ください。



人権標語より 人権指導担当 木村 緑里

今年の人権週間では、全校で「人権標語」を作成しました。いじめ、身障者、人種差別、お年寄りへの思いやりなど身近な課題を取り上げ、差別・偏見がなく、誰もが幸せになることができる世の中をめざして、真剣に考えることができました。

- ・ 死ね消えろ まじで消えたら どうするの？ 【二年男子】
- ・ 人は皆 この世にいれば 差別なし 【二年男子】
- ・ その言葉 相手の気持ち 考えた？ 【二年男子】
- ・ 心の声 一歩踏み出し 言ってみよう 【二年女子】
- ・ 大丈夫 話してないかな 傷つく言葉 【三年女子】
- ・ 大丈夫？ その一言で 救われる 【三年男子】



お知らせ

12月11日に、藤和雄佐倉市長が上志津中学校へおいでになりました。学校施設、授業風景をご覧になったあと3年2組の社会科（公民）の授業に参加していただき、今、学習している行政のしくみ等について、具体的にわかりやすくお話くださいました。また、上志津中自慢の給食も完食して下さいました。



題字下写真：西部地域福祉センターの2階ロビーの本校生徒の作品